

環境との調和

方針・計画

明治グループは、自らの事業が豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。この環境理念のもとに明治グループ環境方針を策定し、事業活動から生じる環境負荷の低減を図るとともに、環境との調和や自然との共生に努めた企業経営を実践しています。

WEB 明治グループ環境方針 https://www.meiji.com/corporate/pdf/environmental_policy.pdf

環境マネジメント体制

食品事業会社「(株) 明治」、医薬品事業会社「Meiji Seika ファルマ(株)」においてそれぞれ環境委員会を設置し、環境マネジメントを推進しています。また、両事業会社の環境担当者と明治ホールディングス(株)のCSR担当者からなる明治グループ環境会議を設置し、グループ共通の長期ビジョンの策定やリスク管理を行うなど、グループ全体で環境マネジメントを推進しています。



低炭素社会の実現に向けての取り組み

CO₂ 排出量削減による温暖化対策は、持続可能な社会の実現のために必須の活動となっています。その責任を全うするため、「明治グループ CSR2026 ビジョン」において2030年度までの長期目標を設定しました。この目標に向けてさまざまな施策を立案実行し、CO₂ 排出量削減を果たしていきます。

省エネ活動について

明治グループでは、事業活動のあらゆる段階において省エネルギーに努めています。生産現場では、CO₂ 排出抑制にもつながる重油から都市ガスへの燃料の転換や、コージェネレーションシステムなどの省エネ設備の導入、設備運転の効率化を継続的に実施しています。

再生可能エネルギーについて

太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用は、限りある資源を保護するだけでなく、地球温暖化の防止にも大きく寄与します。現在、菓子を生産している大阪工場、牛乳・ヨーグルトを生産している愛知工場、アメリカで菓子を生産しているサンタアナ工場において屋上に大規模な太陽光パネルを設置し、CO₂ 排出の削減に取り組んでいます。

2030年度の国内CO₂ 排出量
※2013年度比

15%以上削減

2017年度CO₂ 排出量実績

	国内	海外
Scope1	23.0万t <input checked="" type="checkbox"/>	3.4万t
Scope2	27.4万t <input checked="" type="checkbox"/>	9.8万t
Scope3	203.5万t	

(国内)
Scope1, 2は地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算定しています。集計対象範囲はP71に記載しています。また の付された数値は第三者保証を受けています。Scope3はサプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインに基づき算定しています。

集計対象: カテゴリー1(購入した製品・サービス)、2(資本財)、3(Scope1, 2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動)、5(事業活動から出る廃棄物)、6(出張)、7(雇用者の通勤)、12(販売した製品の廃棄)

(海外)
海外生産系14工場を集計しています。Scope1は地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく排出係数を利用し、Scope2はIEA, Emissions from Fuel Combustionの排出係数を利用しています。